



自己紹介

神奈川大学人間科学部 荻野佳代子

専門：教育心理学

○関心のあるテーマ：キャリア、男女共同参画、
メンタルヘルス

大学におけるライフキャリア教育

- ・就職講座としての男女共同参画プログラム
「自分らしく働くために～男女共同参画がキーワード」
- ・県「ライフキャリア教育支援事業」と連携



神奈川大学のご紹介

キャンパス

- 横浜キャンパス（東横線白楽駅）
- 湘南ひらつかキャンパス（JR東海道線平塚駅）

7学部9研究科

（法学部，経済学部，経営学部，外国語学部，
人間科学部，理学部，工学部）

学生数 約18,000人（うち女子約5,000人）

横浜キャンパス



湘南ひらつかキャンパス



KU 神奈川大学

ライフキャリア教育への関心

大学生の将来展望は意外に短い

- ・ 結婚・育児・介護・・・の前に「卒業・就職」が不安
- ・ 将来のロールモデルは親？・・・モデルの少なさ
「親は自分が小さい頃子育てに専念していたので私も・・・」

○変化の激しい社会 = 生き方・働き方が見えにくく不安

- ・ 神奈川県：女性の‘M字カーブ（年齢階級別労働力率）’
の落差が全国で最も大きい
- ・ 男性：長時間通勤・労働 / 女性：育児期の離職が多い
就業を希望しながら実現しない、一方就業を希望
しない女性も多い（平成24年全国知事会）

「就職活動」に入る前の「ライフキャリア教育」の必要性

ライフキャリア教育

学生が卒業後を考えるうえで、仕事、結婚、育児、介護等のライフイベントを、性別によって役割を固定的に考えることなく、自分が望む働き方・生き方を選択できることをめざした教育

ライフキャリアとは

◆ 仕事と仕事以外の活動、生活全体からなるライフキャリア

Life Career (広義のキャリア)

仕事以外の個人生活

- ・ 家庭生活
- ・ 地域社会との関わり
- ・ 個人の活動（自己啓発、趣味）

Work Career (狭義のキャリア)

- ・ 仕事の経歴
- ・ 職務内容

現在の政治・経済・社会状況、
およびそれらの将来変化

→ 社会環境の変化など、個人の力が及ばない要因も作用

就職講座「自分らしく働くために

～男女共同参画がキーワード」 概要

第1回	男女共同参画って何だろう？ ～ 人生すごろくをやってみよう
第2回	自分らしく生きるために ～ゲームをしながら考えてみよう(ワールドカフェ方式)
第3回	私たちを守ってくれる制度や知識
第4回	こころの健康と男女共同参画
第5回	学生企画「男性視点でジェンダーを考える」
第6回	学生企画「男性視点でジェンダーを考える」
第7回	神大フェスタ企画 「稼げない男 家事ができない女は幸せになれるか？」



神奈川県「男女共同参画の視点によるライフキャリア教育授業」

第 1回	生き方や働き方の思い込みに気づく
第 2回	男女共同参画概論
第 3回	ライフプランを考える
第 4回	パートナーシップを考える
第 5回	心と身体の健康を考える
第 6回	ワーク ライフ マネジメントを考える
第 7回	労働の歴史と現状を知る
第 8回	労働に関する法律や制度を知る
第 9回	労働に関する法律や制度を知る
第 10回	ロールモデルの必要性と見つけ方を学ぶ
第 11回	ゲストトーク (OG事例)
第 12回	ゲストトーク (OB事例)
第 13回	企業の選び方を学ぶ
第 14回	ライフプランを考える
第 15回	自分のキャリアを自らデザインする

The screenshot shows the Kanagawa Prefecture website. The header includes the Kanagawa logo and navigation links for 'くらし・安全・環境', '健康・福祉・子育て', '教育・文化・スポーツ', and '観光・名産'. The breadcrumb trail reads: ホーム > くらし・安全・環境 > 人権と協働 > 人権・男女平等 > ライフキャリア教育支援について. The main heading is 'ライフキャリア教育支援' with a '印刷用ページを表示' button and a date of '掲載日: 2016年9月29日'. Below the heading, there is a sub-heading 'ライフキャリア教育支援' and two paragraphs of text. The first paragraph states that students should consider their career (work) and life (living) together. The second paragraph lists two student perspectives: a female student who wants to be a professional despite a difficult job market, and a male student who wants to work hard for his family's health. A third paragraph explains that life includes various events like work, marriage, and childcare, and that it's important to set priorities and choose a life path that suits oneself.

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/image/743085.PNG>

ライフキャリア教育 ～手ごたえ

【自分の人生は自分で考える】ことの気づき

「就職」・「結婚」・「育児」などのライフイベント

「イメージ・固定観念」

「視野の広がり・前向きにとらえ行動する」きっかけ

【他者との関係性】の大切さへの気づき

他者から学ぶ・他者と協力しながら生きていく

将来の【社会の担い手】であることの気づき

ライフキャリア教育

～ 今後に向けて

教育内容への理解・ニーズは高い

- ・ 学生の声を聞き、学生に寄り添った内容に

「人生100歳時代」を見据えて・・・

- ・ 異なる世代とコミュニケーションする力

- ・ 職業キャリア 40年 60年??

複数のキャリアが前提？

- ・ 自分で自分を幸せにする力

自分の軸・アイデンティティ

- ・ 100歳時代の『担い手』としての「意欲」を育む